

Pro-Line JetClean Ansaugsystem reiniger Diesel 300 ml

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

セクション 1: 化学品及び会社情報

ラベルに使用される製品の識別子

製品名

Pro-Line JetClean Ansaugsystem reiniger Diesel 300 ml

他の識別手段

20986 (300 ml)

化学品の推奨用途と使用上の制限

推奨用途

ディーゼルインテークシステムクリーナー

使用上の制限

知られていない。

安全性データシート供給者の詳細

供給者の詳細

LIQUI MOLY GmbH

納入業者の住所

Jerg-Wieland-Str. 4

89081 Ulm-Lehr

ドイツ

電話

(+49) 0731-1420-0

F a x

(+49) 0731-1420-88

E メール(担当者)

info@liqui-moly.de

緊急電話番号

緊急連絡用電話の番号

+49 (0) 6132 / 84463

24 時間

セクション 2: 危険性物質の特定

危険有害性の概要

製品の取り扱い:

ライトイエロー 透明な 液体。独特な臭い。

引火性の高い液体及び蒸気。 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。 呼吸器への刺激のおそれ。 眠気又はめまいのおそれ。 発がんのおそれの疑い。 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

使用前に取扱説明書を手入手すること。 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 喫煙禁止。 保護手袋/保護眼鏡/保護面 を着用すること。 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん (鹼) で洗うこと。 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。 無理に吐かせないこと。 内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

物質または混合物の分類

以下に準拠: JIS Z 7252: 2019

物理的な危険性

健康に対する有害性

Flam. Liq. 2; H225

Asp. Tox. 1; H304

STOT SE 3; H335

STOT SE 3; H336

Carc. 2; H351

Repr. 2; H361

STOT RE 1; H372

Aquatic Acute. 3; H402

Aquatic Chronic. 2; H411

環境に対する危険

表示要素

Pro-Line JetClean Ansaugsystem reiniger Diesel 300 ml

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

危険性を表す絵表示



注意喚起語

輸除

危険有害性情報

H225: 引火性の高い液体及び蒸気。
H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H335: 呼吸器への刺激のおそれ。
H336: 眠気又はめまいのおそれ。
H351: 発がんのおそれの疑い。
H361: 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。
H372: 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害。
H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き
安全対策

P201: 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210: 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
P260: 蒸気じん一を吸入しないこと。
P264: 取り扱いの後手と暴露された皮膚を徹底的に洗う。
P270: この製品を使用するときに, 飲食又は喫煙をしないこと。
P271: 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P301+P310: 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
P331: 無理に吐かせないこと。
P303+P361+P353: 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水。
P304+P340: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P308+P313: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
P312: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P403+P235: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405: 施錠して保管すること。
P501: 内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

応答

保管

廃棄

他の危険有害性

空気により爆発性混合物を形成することがあります。

セクション 3: 組成/成分の情報

化学物質 - 該当なし。
混合物

GHS の分類 JIS Z 7252: 2019

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	化審法 官報公示番号 [^]	危険有害性分類
アセトン	60 - 70	67-64-1	200-662-2	2-542	Flam. Liq. 2; H225 Eye Irrit. 2B; H320 STOT SE 3; H335 STOT SE 3; H336 Repr 2; H361

Pro-Line JetClean Ansaugsystem reiniger Diesel 300 ml

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020

バージョン: 1.0

					STOT RE 1; H372
Hydrocarbons, C10, aromatics, < 1% naphthalene	30 – 40	64742-94-5	918-811-1	-	Flam. Liq. 4; H227 Asp. Tox. 1; H304 STOT SE 3; H336 Aquatic Chronic 2; H411
Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene	< 2	-	919-284-0	-	Flam. Liq. 4; H227 Asp. Tox. 1; H304 STOT SE 3; H336 Carc. 2; H351 Aquatic Chronic. 2; H411
ナフタレン	< 1	91-20-3	202-049-5	4-311	Acute Tox. 4; H302 Skin Sens. 1; H317 Eye Irrit. 2B; H320 Carc. 2; H351 STOT SE 1; H370 STOT RE 1; H372 Aquatic Acute. 1; H400 Aquatic Chronic. 1; H410
2-エチルヘキサン-1-オール	< 1	104-76-7	203-234-3	2-217	Flam. Liq. 4; H227 Skin Irrit. 2; H315 Eye Irrit. 2; H319 STOT SE 3; H336 Repr. 2; H361 STOT SE 2; H371 Aquatic Acute. 1; H401
Phenol, dodecyl-, branched	< 0.25	121158-58-5	310-154-3	3-511	Skin Corr. 1C; H314 Eye Dam. 1; H318 Repr. 1B; H360F Aquatic Acute. 1; H400 M 因子: 10 Aquatic Chronic. 1; H410 M 因子: 10

H/P フレーズのテキスト全部分については、セクション 16 を参照する。^化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律 (MITI 番号)
当製品の分類に影響を与えるであろう他の成分または不純物はありません

セクション 4: 応急処置



応急処置の説明

吸入

吸入した場合: 呼吸が困難な場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い場合は、中毒センターに連絡する。

皮膚接触

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐ/取り去ること。多量の水で洗うこと。刺激(発赤、発疹、水疱)があらわれた場合、医師の手当てを受けること。

目の接触

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激があらわれ持続した場合、医師の手当てを受けること。

摂取

飲みこんだ場合: 口をすすぐこと。症状が現れたり、大量に摂取した場合は医師の診断を受けてください。医療関係者の指示がない限りは嘔吐させないでください。気分が悪いときは医師に連絡すること。

Pro-Line JetClean Ansaugsystem reiniger Diesel 300 ml

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日: 31/07/2020

バージョン: 1.0

最も重要な症状および作用（急性および遅発性）

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。呼吸器への刺激のおそれ。眠気又はめまいのおそれ。発がんのおそれの疑い。生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。症状によって処置する。

医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

医師への注意:

暴露後 48 時間ぐらい経ってから症状が現われることがある。
飲みこんだ場合: 嘔吐させないでください。もし嘔吐する場合は、被災者を前屈みにさせて吸引のリスクを減らしてください。
吸入した場合: 可能であれば酸素吸入を施し、必要があれば人工呼吸を施す。

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺の火災に適切な。炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。耐アルコ<許 A 消火剤 (ATC 型) を推奨します。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がることがあります。

当該物質または混合物に起因する特別な危険性

引火性の高い液体及び蒸気。蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。燃焼生成物: 炭素酸化物, フェノ<距`。適切な距離から注意して消火すること。消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。必要であれば待避する。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。環境への放出を避けること。

消火作業員の特別な保護具と予防措置

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

注意 - 流出物は滑りやすい時もある。作業員は被暴を最小限にするように訓練されていることを確認します。流出物をとり除く間、適切な保護具を着用する。着火源をとり除く。危険がなければ漏出を遮断する。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。喫煙禁止。全ての接触を避けること。蒸気じん一を吸入しないこと。適切な換気を確保する。摂取しないでください。飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。火花がでる工具を使用しないこと。無火花換気装置、承認済み防爆装置、および安全に設計された電気システムを使用すること。妊娠中は暴露を避けること。

環境的予防措置

環境への放出を避けること。排水路、下水道または水路に入らないようにする。

封じ込めと清掃のための方法および資材

そうするのが安全であれば、漏出元を隔離する。引火性漏洩物を回収するときには、無火花機器を使用すること。蒸気は空気より重い; くぼみと閉鎖空間に気を付ける。適切な換気設備がある場合、小規模の流出物は蒸発させる。難燃性の帯電防止保護服を着用する。化学防護服および呼吸装置を着用、装着してください。

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取り扱いのための注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。発火源から離して保管する—禁煙。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。使用中および使用後に十分な換気を行うことによって、蒸気の蓄積を防ぐこと。空気により爆発性混合物を形成することがあります。静電気放電に対する予防措置を講ずること。火花を発生させない工具を使用すること。蒸気は空気より重い; くぼみと閉鎖空間に気を付ける。物質との接触をすべて避けてください。摂取しないでください。飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。蒸気じん一を吸入しないこと。次の項を参照: 8. 高い産業衛生水準を維持します。取扱い後は手を完全に洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。妊娠中は暴露を避けること。

Pro-Line JetClean Ansaugsystem reiniger Diesel 300 ml

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020

バージョン: 1.0

安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

軽質炭化水素蒸気が容器の上部空間に蓄積することがあります。燃焼や爆発の危険を引き起こす恐れがあります。こぼれた場合の土壌や水の汚染を防ぐための貯蔵施設の整備。他の容器に移し替えないこと。使わない時には容器を適切に密封して保管する。日光から遮断する。本物質の容器が空の場合、製品の残留物が残っていると有害であることがあります。空の容器には製品の残留物が含まれている可能性があります。容器内部で可燃性蒸気または爆発性蒸気を発生させる恐れがあります。施錠して保管すること。

保管温度
混触危険物質

涼しく換気のよい場所に保管してください。
～から離すこと: 強酸化物類.; 強酸およびアルカリ。アミン。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

職業暴露限度

物質	CAS 番号	OEL		参照:
		ppm	mg/m3	
アセトン	67-64-1	200	470	JSOH
1,2,4-トリメチルベンゼン	95-63-6	25	120	JSOH
2-エチルヘキサン-1-オール	104-76-7	1	5.3	JSOH
エチレンジアミン	107-15-3	10	25	JSOH, S

ソース: OEL - Recommendation of Occupational Exposure Limits (2018 - 2019), J Occup Health 2018; 60: 419-452

職業暴露限界の勧告 (2018年~2019年)、J Occup Health 2018年; 60: 419-452

メモ:

S: 皮膚から吸収されることがある。

生物学的暴露指数

確立されていない。

適切な工学的管理

粉じん、ヒュームまたは蒸気が発生するようなら、適切な局所排気を含む十分な排気を行なう。熱源および着火源から離れた、換気の良い (乾燥した) 冷所/低温の場所に貯蔵すること。作業場所の近くに洗眼設備と安全シャワーを確保すること。

個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置

燃料は通常、閉鎖されたシステムで使用、輸送、輸送されます。暴露の可能性が高い場合 (サンプリング中など)、次の適切なアドバイスを参照してください。高い産業衛生水準を維持します。喫煙、飲食の前には必ず手を洗う。作業中は飲食、喫煙しないこと。全ての接触を避けること。蒸気じんを吸入しないこと。妊娠中は暴露を避けること。

保護衣は、扱う有害物質の濃度と量に応じて、作業場所専用を選択する必要があります。保護服の化学物質に対する耐性は、それぞれの供給業者に確認する必要があります。

目/顔面の保護



適切な目の保護具を使用する。(推奨: EN166). 洗眼ボトルを準備しておかなければなりません。

皮膚の保護



手の保護: 不浸透性の手袋を着用します。(推奨: EN374). 浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に交換すること。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。適切な材料: ニトリル。

身体の保護具 皮膚に触れないように適切なカバークロッキングしてください。

Pro-Line JetClean Ansaugsystem reiniger Diesel 300 ml

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

呼吸器の保護



適切な換気を確保する。職業暴露限度を超過する濃度に暴露するようなら、適切な呼吸用保護具を着用する。

推奨: 高性能フィルタ(EN143)の使用が推奨される。フィルタタイプ A1 (以下と同等または類似: EN143)。

特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項 予想されていない。

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理化学的的特性についての情報

外観	ライトイエロー 透明な 液体。
におい	独特な臭い
臭いの閾値	確立されていない。
pH 値	確立されていない。
融点/凝固点 (°C)	確立されていない。
初留点と沸騰範囲 (°C)	< 100°C
引火点(°C)	<21°C
蒸発速度	確立されていない。
燃焼性 (固体、ガス)	該当なし。
上限/下限可燃性または爆発限界	確立されていない。
蒸気圧(mm Hg)	確立されていない。
蒸気密度(空気=1)	蒸気は空気より重い
相対密度	0.831 g/ml
溶解度	水に不溶。
分配係数 (n-オクタノール/水)	確立されていない。
自己発火温度(°C)	確立されていない。
分解温度(°C)	確立されていない。
粘度(mPa.s)	0.561mm ² /s (20°C)

追加性質

爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。
密度	0.831 g/ml

セクション 10: 安定性及び反応性

反応性	普通の状態 で安定。
化学的安定性	普通の状態 で安定。
危険な反応の可能性	引火性の高い液体及び蒸気。蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。
避けるべき条件	昇温、熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。喫煙禁止。直射日光を避ける。
混触危険物質	強酸化物類。強酸およびアルカリ。アミン。
危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な煙を発生する: 一酸化炭素, 二酸化炭素, フェノ^ル。

セクション 11: 有害性情報

毒性に関する情報	
急性毒性 - 口	混合物.: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: LD50 >2,000 mg/kg 体重/日。
急性毒性 - 経皮	混合物.: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

Pro-Line JetClean Ansaugsystem reiniger Diesel 300 ml

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日: 31/07/2020

バージョン: 1.0

<p>急性毒性 - 吸入</p>	<p>急性毒性推定混合計算: LD50 >2,000 mg/kg 体重/日。 混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: LC50 > 5mg/l (霧)。 混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p>
<p>皮膚腐食性/刺激性</p>	<p>混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p>
<p>眼に対する重篤な損傷/眼刺激性</p>	<p>混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p>
<p>呼吸器感受性又は皮膚感受性</p>	<p>混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p>
<p>生殖細胞変異原性データ</p>	<p>混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p>
<p>発がん性</p>	<p>混合物: Carc. 2; H351: 発がんのおそれの疑い。</p>
<p>Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene</p>	<p>Carc. 2; H351: 発がんのおそれの疑い。 EU ECHA 登録書類</p>
<p>ナフタレン</p>	<p>Carc. 2; H351: 発がんのおそれの疑い。 NITE GHS 分類</p>
<p>生殖毒性</p>	<p>混合物: Repr. 2; H361: 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。</p>
<p>アセトン</p>	<p>Repr. 2; H361: 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。 NITE GHS 分類</p>
<p>2-エチルヘキサン-1-オール</p>	<p>Repr. 2; H361: 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。 NITE GHS 分類</p>
<p>Phenol, 4-dodecyl, branched</p>	<p>Repr. 1B; H360F: 生殖性に害を与えるかもしれない。 EU 調和した分類 と EU ECHA 登録書類</p>
<p>特定標的臓器への毒性 (単回暴露)</p>	<p>混合物: STOT SE 3; H335: 呼吸器への刺激のおそれ。 STOT SE 3; H336: 眠気又はめまいのおそれ。</p>
<p>アセトン</p>	<p>STOT SE 3; H335: 呼吸器への刺激のおそれ。 NITE GHS 分類 STOT SE 3; H336: 眠気又はめまいのおそれ。 NITE GHS 分類。 証拠の重み付け負: 分類のための観察 (ラット) (Bruckner JV, Peterson RG, 1981)</p>
<p>Hydrocarbons, C10, aromatics, < 1% naphthalene</p>	<p>STOT SE 3; H336: 眠気又はめまいのおそれ。 協調運動障害。(ウサギ) (IARC 47, 1989)</p>
<p>Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene</p>	<p>STOT SE 3; H336: 眠気又はめまいのおそれ。 EU ECHA 登録書類</p>
<p>ナフタレン</p>	<p>STOT SE 1; H370: 臓器の障害。血, 目, , 気道。 NITE GHS 分類</p>
<p>2-エチルヘキサン-1-オール</p>	<p>STOT SE 3; H336: 眠気又はめまいのおそれ。 NITE GHS 分類 STOT SE 2; H371: 臓器の障害のおそれ。呼吸器系。 NITE GHS 分類</p>
<p>特定標的臓器への毒性 (反復暴露)</p>	<p>混合物: STOT RE 1; H372: 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害。</p>
<p>アセトン</p>	<p>STOT RE 1; H372: 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害: 中枢神経系, , 呼吸器系, 消化管, . NITE GHS 分類</p>
<p>ナフタレン</p>	<p>STOT RE 1; H372: 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害: 血, 目, , 呼吸器系。 NITE GHS 分類</p>
<p>吸引性呼吸器有害性</p>	<p>混合物: Asp. Tox. 1; H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。</p>
<p>Hydrocarbons, C10, aromatics, < 1% naphthalene</p>	<p>Asp. Tox. 1; H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。 粘度: 1.26 (@20°C) (ASTM D 7042)</p>
<p>Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene</p>	<p>Asp. Tox. 1; H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。 粘度: 1.38 (@20°C) (ASTM D 7042)</p>
<p>その他の情報</p>	<p>知られていない。</p>

Pro-Line JetClean Ansaugsystem reiniger Diesel 300 ml

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日: 31/07/2020
バージョン: 1.0

セクション 12: 生態学的情報

毒性	混合物: Aquatic Acute. 2; H401: 水生生物に毒性。 Aquatic Chronic. 2; H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。 推定 LC50 (96 時間) 魚類 1 – 10 mg/l
Hydrocarbons, C10, aromatics, < 1% naphthalene	Aquatic Chronic 2; H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。 NOELR: 0.441 mg/l (魚類) (28 日) (CONCAWE, 2010)
Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene	Aquatic Chronic. 2; H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。 NOELR: 0.487 mg/l (魚類) (28 日) (CONCAWE, 2010)
ナフタレン	Aquatic Acute. 1; H400: 水生生物に非常に強い毒性。 Aquatic Chronic. 1; H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。 NITE GHS 分類
2-エチルヘキサン-1-オール	Aquatic Acute. 1; H400: 水生生物に非常に強い毒性。 NITE GHS 分類
Phenol, dodecyl-, branched	Aquatic Acute. 1; H400: 水生生物に非常に強い毒性。 M 因子: 10. EU 調和した分類 Aquatic Chronic. 1; H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。 M 因子: 10. EU 調和した分類
残留性および分解性	混合物全体としてのデータはありません。
アセトン	容易に生分解される。 90.9% 分解 以下に準拠する: 水 (28 日) (OECD 301 B)
Hydrocarbons, C10, aromatics, < 1% naphthalene	本質的生分解性 57.95% 分解 以下に準拠する: 水 (28 日) (OECD 301 F)
Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene	本質的生分解性 57.95% 分解 以下に準拠する: 水 (28 日) (OECD 301 F)
ナフタレン	容易には生分解されない。
2-エチルヘキサン-1-オール	容易に生分解される。 >79% 分解 以下に準拠する: 水 (14 日) (OECD 301 C)
Phenol, dodecyl-, branched	容易には生分解されない。 >6% 分解 以下に準拠する: 水 (28 日) (OECD 301 B)
生物蓄積性	混合物全体としてのデータはありません。
アセトン	この物質は生物濃縮の可能性が低い。 BCF: 3 L/Kg (Fh-ITEM, 2009)
Hydrocarbons, C10, aromatics, < 1% naphthalene	利用できるデータなし
Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene	この物質は生物濃縮の可能性が低い。
ナフタレン	この物質は生物濃縮の可能性が低い。
2-エチルヘキサン-1-オール	この物質は生物濃縮の可能性が低い。
Phenol, dodecyl-, branched	生物濃縮します。 BCF: 823 (OECD 305)
土壤中の移動度	混合物全体としてのデータはありません。
アセトン	この物質は土壤中での移動性が高いと予想される。水混合性。
Hydrocarbons, C10, aromatics, < 1% naphthalene	物質は複雑な UVCB である。 このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない
Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene	物質は複雑な UVCB である。 このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない
ナフタレン	この物質は土壤中での移動性が高いと予想される。
2-エチルヘキサン-1-オール	この物質は土壤中で中程度の移動性と予想される。 Log Koc: 2.12 (名前のない出版物, 2013)
Phenol, dodecyl-, branched	この物質は土壤中での移動性が低い。 Log Koc: 4.40 – 4.67 (OECD 121).
オゾンに対する有害な影響	アセトン この物質にオゾン層破壊の可能性はない。

Pro-Line JetClean Ansaugsystem reiniger Diesel 300 ml

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日: 31/07/2020

バージョン: 1.0

Hydrocarbons, C10, aromatics, < 1% naphthalene	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
ナフタレン	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
2-ethylhexan-1-ol	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
Phenol, dodecyl-, branched	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
その他の有害な作用	知られていない。

セクション 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理法	この材料とその容器を有害廃棄物として処分します。排水路に流してはならない。この物質および容器は有害廃棄物もしくは特定廃棄物の収集場所に廃棄する。廃棄処分は関連法(地方政府、県、国家)に従わなければならない。本物質の容器が空の場合、製品の残留物が残っていると有害であることがあります。
---------------	---

セクション 14: 輸送上の注意

	ADR/RID	国際海上危険物	ICAO/IATA
国連番号	UN 1993	UN 1993	UN 1993
UN 適切な船積み名	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (アセトン)	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (アセトン)	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (アセトン)
輸送危険分類	3	3	3
輸送危険分類	II	II	II
海洋汚染物質	環境的に有害な物質	海洋汚染物質に分類されている。	環境的に有害な物質
使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2		
MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。

セクション 15: 適用法令

特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

労働安全衛生法 (ISHA)

通知対象物	アセトン: ≥ 0.1% ナフタレン: ≥ 1% エチレンジアミン: ≥ 0.1%
表示対象物	アセトン: ≥ 1% ナフタレン: ≥ 0.1% エチレンジアミン: ≥ 1.0%
有機溶剤。	アセトン
作業環境負荷基準の管理濃度	アセトン
危険物質	アセトン (可燃性物質)
毒物及び劇物取締法	
劇物	エチレンジアミン
化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律	
優先評価化学物質	アセトン ナフタレン 1,2,4-トリメチルベンゼン
既存化学物質	アセトン ナフタレン Phenol, dodecyl-, branched エチレンジアミン

Pro-Line JetClean Ansaugsystem reiniger Diesel 300 ml

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)
クラス I 指定化学物質

1,2,4-トリメチルベンゼン

ナフタレン
エチレンジアミン

消防法

1,2,4-トリメチルベンゼン
第四類引火性液体 第一石油類 危険等級 II

セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 該当なし。- V1.0

参考文献:

既存の安全データシート (SDS).

NITE 化学物質総合情報提供システム.

EU 調和した分類 以下を対象: Phenol, dodecyl-, branched (CAS 番号 121158-58-5).

以下に対する既存の ECHA 登録: Hydrocarbons, C10, aromatics, < 1% naphthalene (EC 番号 918-811-1); Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene (EC 番号 919-284-0) と Phenol, dodecyl-, branched (CAS 番号 121158-58-5).

文献情報源:

1. Bruckner JV, Peterson RG, 1981, Evaluation of toluene and acetone inhalant abuse. I. Pharmacology and pharmacodynamics, ToxicolAppl Pharmacol 61: 27-3.
2. CONCAWE. 2010. Aquatic Toxicity Predictions Obtained Using the Petrotox Model for Hydrocarbons.
3. Fh-ITEM. 2009. Determination of physico-chemical properties and environmental fate using EPIWIN v3.20.

この安全データシートは、日本工業規格 JIS Z 7252 : 2019 および JIS Z 7253 : 2019 に従って編集されています。

物質または混合物の分類 以下に準拠 JIS Z 7252:2019	分類手順
Flam. Liq. 2; H225	引火点(°C) / 沸点(°C)
Asp. Tox. 1; H304	閾値計算 / 動粘度
STOT SE 3; H335	閾値計算
STOT SE 3; H336	閾値計算
Carc. 2; H351	閾値計算
Repr. 2; H361	閾値計算
STOT RE 1; H372	閾値計算
Aquatic Acute 3; H402	積算
Aquatic Chronic. 2; H411	積算

注釈

ADR/RID	ADR: 陸路による危険物の国際運送に関する欧州協定 / RID: 危険物の国際鉄道輸送に関する規制
BCF	生物濃縮率 (BCF)
CAS	CAS: 化学情報検索サービス
EC	EC: 欧州共同体
EN	欧州規格
EU	欧州連合
IATA	IATA: 国際航空運送協会
ICAO/IATA	ICAO: 国際民間航空機関 / IATA: 国際航空運送協会
国際海上危険物	IMDG: 国際海上危険物
LTEL	長期暴露限界
無影響濃度	無影響濃度
NOELR	最大無影響負荷率
OECD	経済協力開発機構
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
STEL	短時間暴露限界
UN	国連

Pro-Line JetClean Ansaugsystem reiniger Diesel 300 ml

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

vPvB

vPvB: 高難分解性、高生物蓄積性

危険有害性分類 / 分類コード:

Flam. Liq. 2; 引火性液体, 区分 2
Flam. Liq. 4; 引火性液体, 区分 4
Acute Tox. 4; 急性毒性, 区分 4
Asp. Tox. 1; 吸引性呼吸器有害性, 区分 1
Skin Sens. 1; 皮膚。感作性, 区分 1
Eye Irrit. 2; 目。刺激性, 区分 2
Eye Irrit. 2B; 目。刺激性, 区分 2B
STOT SE 3; 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), 区分 3

Carc. 2; 発がん性, 区分 2
Repr. 1B; 生殖毒性, 区分 1B
生殖毒性 区分 2; 生殖毒性, 区分 2
STOT SE 1; 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), 区分 1
STOT SE 2; 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), 区分 2
STOT RE 1; 特定標的臓器への毒性 (反復暴露), 区分 1
Aquatic Acute 1; 水生環境有害性, 急性, 区分 1
Aquatic Acute 3; 水生環境有害性, 急性, 区分 3
Aquatic Chronic 1; 水生環境有害性, 慢性, 区分 1
Aquatic Chronic 2; 水生環境有害性, 慢性, 区分 2

危険有害性情報

H225: 引火性の高い液体及び蒸気。
H227: 可燃性液体。
H302: 飲み込むと有害。
H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319: 強い眼刺激。
H320: 眼刺激。
H335: 呼吸器への刺激のおそれ。
H336: 眠気又はめまいのおそれ。
H351: 発がんのおそれの疑い。
H360F: 生殖性に害を与えるかもしれない。
H361: 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。
H370: 臓器の障害。
H371: 臓器の障害のおそれ。
H372: 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害。
H400: 水生生物に非常に強い毒性。
H402: 水生生物に有害。
H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順で関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

この出版物に含まれている情報または使用者様に提供される情報は正確であると考えられ、誠意を持ってご提供する一方で、使用者様は、各自の特定の目的に対して、製品の適合性に関する判断を自らの責任の下で行うものといたします。LIQUI MOLY GmbH は、特定の目的に対する製品の適合性について一切保証いたしません。また、黙示的な保証または条件 (法定またはその他) は、法律で除外が禁止されている場合を除き、除外されます。LIQUI MOLY GmbH は、本情報への依存に起因する損失または損害について責任を負いません (欠陥のある製品によって引き起こされた死亡、または人身傷害に起因するもので、それが証明された場合は除きます)。特許、著作権、意匠に基づく自由は想定できません。